

現状を踏まえ、高校生の勉強の仕方について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきありがとうございます。只今、センター試験の真っ直中です。したがって、試験を受けている方はこの番組を聴くことはできませんが、今回は、高校生の勉強の仕方についてお話ししたいと思います。お聴きの皆さんの中には、来年あるいは再来年にセンター試験を受ける方、センター試験をいずれ受けるお子さんやお孫さんをお持ちの方がいらっしゃると思います。そこで、大学入試を念頭に置いた高校生の勉強の仕方について少しお話しします。

日本の高校生と他の国の高校生の違いを挙げます。日本の高校生の74%は、高校卒業後に、大学・短期大学・専門学校などに進学します。つまり、約4人に3人は上の学校に進むことができます。しかし、貧しい国ではそのようにはいきません。進路の違いの他に、勉強の仕方にも違いが見られます。日本の高校生は、あまり勉強をしていません。約50%の人が学校以外での勉強、つまり家庭での勉強を1分もしていないというのが、日本の高校生の現状です。そして、1時間半以内という高校生は約30%です。つまり、日本の高校生の80%は、まったくやらないか、1時間半以内しかしていないということなのです。それに比べ、中国は8割以上の高校生が1時間以上勉強しています。これは大きな問題です。

勉強時間の足りない日本の高校生の最大の課題は、勉強時間を増やすことです。なぜなら、このような状況のもとで上の学校に行っても、授業の内容はほとんど分からないからです。せっかく両親やおじいちゃん、おばあちゃんが子供や孫のためにお金を出しても無駄になってしまいます。かといって、就職も非常に厳しいです。中には就職をする代わりに大学や短大、専門学校に行くという人もいるかもしれませんが。しかし、就職試験は難しいし、現代は知識社会ですから就職後もコンピュータや他の利器を使いこなして仕事をしなければなりません。そのためにも、勉強はまったくしない、しても1時間半以内というのでは困るわけです。このようにならないためにも、栃木県の高校生は学校以外でもしっかりと勉強していただきたいと思います。

ところで、コンピュータや他のいろいろなものを駆使して仕事ができなければ仕事が長続きしない

そうです。それができずに、高校卒業後1年以内に辞めてしまう人もいるとのこと。ある方にお聞きしましたら、去年は8割、今年は9割の人が辞めてしまって、10人に1人しか残っていないそうです。せっかく高校を卒業して就職したにもかかわらず、このようないきさつでフリーターという形でしか働くことができないという状況が、現代の日本では問題になっています。

では、高校生はどのように勉強したらよいのでしょうか。それには、初めが肝要です。高校に合格した段階で、高校の勉強を始めた方がよいですね。私立特待や私立推薦入試、学業特待入試で受かった人はたくさんいらっしゃると思いますが、その方たちは高校生になれば勉強をしなくてはならないわけです。高校入試当日までは誰でも一所懸命勉強しますが、合格するやいなや全くしなくなり、毎日ボーッとしながら過ごしてしまいがちです。これを防ぐためには、高校入試が終わり入学が決まったその日から、その学校で勉強したいことを、どの教科の予習でも復習でもよいですから入学するまで続けていただきたいと思います。早い方ですと、1月には入学する高校が決まりますので、それから4月初めまでの3か月間ほどを何もしないで過ごすこととなります。4月に高校の授業が始まっても、そこには勉強をしない生徒が蔓延していますので、それに染まる前に自分から勉強をする習慣を身に付けることが大事だと思います。高校に合格した方は、その日、その瞬間から高校の勉強の予習をすることをお勧めします。特に、自分の好きな科目についての予習は念入りにして下さい。

現在の高校1年生、2年生は、1年先、2年先には大学入試やセンター試験を受けます。今のままで受かるかどうかというと、これがけっこう受かってしまうのです。そして、このことが問題なのです。何故かというと、大学にも経営がありますので、定員が充足しないと経営が成り立たず、補助金もつきませんので、誰でも合格させてしまうからです。こんな仕事に就きたい、こんな人生を歩みたい、こんな活動をしたいといった志を持って、できればそれが実現できるような大学や学部、学科を選び、そこに合格できるような勉強をした方がよいと思います。それには、勉強するきっかけをどうにかしてつくってみる事です。きっかけづくりに一番よいのは、行きたい大学の見学に行ってみる事です。そこで、どのようなことをやっているのか、先輩たちはどのような大学生活を送っているのか等を見、「ここに進学するんだ」と決意をすることです。そして、勉強をし始める。どのような勉強をしたらよいかについては、この放送でこれから1年間かけてゆっくりとお話しますので、聴いていただきたいと思います。

高校生は勉強をほとんどしない。そのまま大学へ進んでしまうので、大学での勉強も分からない。その結果、就職もなかなかできない。就職できてもすぐに辞めてしまう。このような悪循環に陥っていますので、中学3年間に続けた勉強と同じ位のペースで勉強する生活を、高校生も大学生もしていただければよいと思います。これから1年間、高校生の勉強法についてお話しますので、皆さんもぜひお考え下さい。